大学実務家教員養成コース修了認定者のうち大学・短大教員希望者

No.	氏名	年齢	最終学歴	学位	資格・修了証	現職	企業・法人等 経験年数	所属学会	主な専門分野	著書・論文 調査分析資料	私が目指す 大学教員	希望職位
3	Ｙ・Ｍ	50歳	1998年早稲田大学商学部卒業	学士（商学）	社会保険労務士 TOEIC　840点	大手化粧品会社 人事総務本部長	27年	なし	企業人事（特に評価、報酬、人材育成、ビジネスパートナリング） 自分の専門分野である企業人事については、人事領域のコンサルタントとして、また事業会社の人事部の専門スタッフおよび管理職として、20年以上のキャリアを有しています。労働関連法令および社会保険関連法令のプロフェッショナルである社会保険労務士としても20年登録をしています。このキャリアの中では、人事戦略の立案や人事制度の設計などの上流工程から、実際の制度の運用や経営層から一般の社員までの個別対応などの下流工程、また採用、人材開発、評価・報酬、労務問題対応や人事システムの導入までの幅広い分野を対応してきており、いわば、企業人事の川上から川下。左岸から右岸までのすべてを包括した経験と知見を有していると自負しています。 企業人事は、経営資源の中でも、個別に意思を持ったヒトを対象としたマネジメントであるため、学術的な理論や法令などの模範を、いかに実情に合わせて現実的に柔軟に展開するかが重要であることを理解し、実践してきたことは自分の強みであると思っています。大学においては、企業人事の幅広い経験と知見を活かし、模範と実践の両面を含んだ学びを提供することで、学生が現実感を持ちながらさらに充実した学修を進められるようサポートできるものと考えています。また、人材開発として社員の教育も担ってきた経験から、社内の多様な社員に理解してもらえるように、なるべく簡単に、分かりやすく伝えることを考えて実践してきたことは、大学においても、学生の理解を高めるために役立つものと考えています。 一方で、大学運営と企業の経営で共通する部分があると思いますので、会社の経営層の一員としての経験を活かし、大学運営にも貢献できるものと考えています。	なし	大学実務家教員養成コースにて学んだ、大学教員に求められる役割（教育、研究、社会貢献、大学運営）の　すべてを果たせる教員を目指していきたいと考えています。 まずは特に、教育の役割として、授業を通じて学生の学修を直接的にサポートし、 ・内容が理解しやすい ・実社会でのイメージができる ・知識が定着する といったことを学生が実感できるような授業を行える教員を目指し、取り組んで行きたいと考えています	常勤・非常勤